

施 策：	21	歴史・文化の継承と振興	財務コード	01090608-07-00
基本事業：	03	歴史学習の機会提供	担当部	教育部
基本事業の成果指標	歴史・文化に関する学習会等に参加した市民の数 歴史・文化に関する体験学習等に参加した児童・生徒の数			担当課 文化財課
				担当係 博物館担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成13年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画			
1 . 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2 . 手段（事務事業の内容、やり方、手順）								
市内外からの見学者		国史跡五郎山古墳及び古墳館における下記の事業を行い、学習の場としての適切な公開活用を図るとともに、見学者等の学習要求に応え、館の運営を行います。開館時間（9:00～17:00、月曜日休館）、入館料無料								
3 . 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		古墳の出土資料等の見学・学習映像の視聴 可動式実物大模型による古墳石室体験・細部見学 観察室からの実物古墳石室見学（実物） 学校休業期間における装飾古墳等に関するイベントの実施（夏休み装飾古墳アート：石に古墳壁画の絵を描く模擬体験、ストローを管玉に見立てたアクセサリー製作）・冬休み段ボール織り（古代布織り）・石室一般公開・小学校等の団体見学など 装飾古墳関係図書閲覧・解説パンフレット（多言語）等の提供								
4 . 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度		
来館者数		人	実績 4,575	実績 2,060	当初	要求 5,000	計画	目標 6,000		
装飾古墳アートイベント参加者		人	987	0		1,000		1,100		
5 . コスト										
事業費	計	千円	6,083	6,610	8,332	8,075				
	国	千円	0	0	0	0				
	県	千円	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0				
	一般	千円	6,083	6,610	8,332	8,075				
正職員人工数		人工	0.1	0.2	0.3					
正職員人件費		千円	807	1,606	2,376					
トータルコスト(事業費 + 正職員人件費)		千円	6,890	8,216	10,708	8,075				
6 . 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている	令和2年度の来館者数は2060人で、令和元年度の4575人と比べ2515人減少しています。新型コロナウイル感染症感染防止のため、4/1～5/25まで臨時休館し、その後も入場制限（10人まで）を行い、石室公開は中止していること、また、学校休期間に実施しているストーンアート等の体験学集は年間を通じ実施できないことが減少の要因であると考えます。令和元年度末で石室及び古墳館の整備が完了したことを記念してイベントを実施（記念講演会2回、親子でストーンアート：コロナで中止、来館者プレゼント「お家で作ろう古墳アートセット」の配布）するとともに、PRチラシを作成・配布し、また博物館でPRロビー展示を行い、新規来館者を開拓するため事業を実施しましたが、コロナ禍の中、期待した効果は得られませんでした。									
7 . 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	地域の歴史文化の理解を深め、学習意欲を喚起していくことを目的とした学習施設（五郎山古墳ガイダンス施設、市歴史博物館分館）と位置づけをしており、利用料については無料としています。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし							
成果向上余地	中程度									
8 . 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）		改善方向性		維持	見直し	廃止	事業終了			
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持 / 事業終了の場合は記入する必要なし）										
市内の在住者の来館を増やすためには、地元の原田地区以外の地域の認知を高めることが必要だと感じます。博物館でストーンアート等の体験イベントを実施し、二日市地区などの市民に装飾古墳の魅力を伝え、古墳館への来館を促したい。										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄						
平成13年度開館。 平成28～令和元年度 保存整備事業を実施。 (古墳館の映像設備等の改修は令和元年度に実施) 令和3年5月18日で開館20周年				新型コロナウイル感染症感染防止のため4/1～5/25臨時休館、その後も、展示室が狭いため入場制限（10名まで）を行い、団体や小学校等の利用ができない状況です。 石室の見学や学校休期間の体験学習も中止せざるを得ない状況です。						